議会のうごき

上島町議会
平成26年 第2回定例会

本定例会は6月24日に招集され、会期を7日間と定めましたが、1日で審議等を終え閉会しました。なお、行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長の行政報告

みなさん、おはようございます。

本日は、平成26年度第2回定例会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきまして誠にありがとうございます。

3月定例議会後の行政活動詳細は、上島町ホームページ内の町長活動報告に代えさせていただき、主な内容のみ報告いたします。

まず、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の国内委員会において、重要な歴史文書の保存を目的とする記憶遺産の登録候補として、国が申請した国宝の東寺百合文書が選定されたことを町民の皆様とともにお祝いしたいと思います。

これは、広報5月号の「こんにちは町長です」においても紹介させていただいたように、弓削島は中世の時代、京都東寺の荘園として繁栄した歴史があり、今も交流が続いています。昭和56年に今の皇太子様が中世の海運の歴史について、弓削島に宿泊され研究されたように、「東寺百合文書」には「弓削島荘」の記述が多く、弓削島以外にも岩城島や佐島などとの関わりが記されています。

本年度予算にも計上しておりますが、上島町では愛媛大学と協力して塩の遺跡等の調査を継続しており、東寺百合文書が更に注目されることにより上島町の輝かしい歴史と文化が広く世界にも認知され、「世界に誇れる品格あるふるさと」の基礎となることを願っています。

3月21日には「島の輪を人の和でつなぐ」をテーマに、愛媛・広島両県の島々や沿岸部の魅力を住民自らが発信する「瀬戸内しまのわ2014」が開幕し、宮島でのオープニングイベントにおいて両県知事と開催地の首長として開幕宣言を行いました。また、ステージ前では、開催13市町のブースが設けられ、我が上島町もレモンをはじめとする特産品や上島町で行われる各種しまのわイベントのPRをさせていただきました。10月26日までの期間中、町民の皆様方も、上島町の自然や食を活かしたイベントにご参加いただき、我がふるさと上島町が、世界に注目される町として、最大限の魅力発信ができますよう、ご支援、ご協力をお願いいたします。

昨年の7月12日に弓削高等学校振興対策協議会を設立し、まちづくり懇談会等においても町民の皆様にもご協力をお願いしていた、弓削高校の生徒募集については、この4月に予想以上の生徒さんが弓削高校に入学してくれたことにより、再編の危機を回避することができました。

これは、町民の皆様のご支援はもとより、愛媛県内だけではなく広島県の中学校へ弓削高校の学校説明に出向くなど、熱心に活動していただいた校長先生をはじめ、学校関係者のおかげであると心から感謝しております。

今後も上島町唯一の県立弓削高校を支えるため、町民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4月5日の「瀬戸内しまのわ2014 いわぎ桜まつり カラオケグランプリ」は、会場に溢れんばかりのお客様が来場され、上島町での最初のイベントは、大いに盛り上がる結果となりました。今後開催されます各種イベントに「しまの活力」をリレーするには申し分のない、スタートが切れましたことに感謝いたします。

4月5日～13日の「いわぎ桜まつり」は天候に恵まれ、開花時期も満開を迎えたこともあり、50台以上の観光バスの往来がありました。年を追うごとに観光客が増加しておりますが、その要因はお客

いわぎ桜まつり・島本陣岩城太鼓の演奏

様をお迎えする上島町民の心のこもったおもてなしに接することができること、行政によるソフト面の取り組みと各種環境整備のハード面の充実が挙げられると思われます。また、今年は更に1週間の期間を延長し「つつじまつり」と題し、桜に引き続き積善山いっぱいに咲き誇るつつじが楽しめることをアピールいたしました。これからも積善山が日本を代表する観光地と認知していただくためにも、更なる環境整備に取り組んで参ります。また、この場をお借りして、桜まつりを盛り上げ支えていただいている各種団体やスタッフの皆様に、心からのお礼を申しあげます。

4月10日、衆議院第1議員会館において、4年前に立ち上げられた、公明党の「離島振興対策本部」の会合が開催されました。私も全国離島振興協議会の副会長として参加し、「離島に対する地方交付税の適正な積算」と「島民の生活に欠かせない航路への支援」について、意見を述べさせていただきました。

4月18日～20日、ガルーダ・インドネシア航空の本社上級副社長が愛媛県知事を表敬訪問され、グループ50名のサイクリストがしまなみ海道と周辺コースを走破されました。上島町もコースに組み込んでいただいていたことから、私も、全行程に同行させていただき、20日には岩城島をスタートし、生名島、佐島および弓削島を巡る35キロメートルのコースの案内役を努めました。インドネシアの方々は、ゆめしま海道と上島町の景観の素晴らしや、食材の豊富さと美味しさに感動され、再度の来町を話されていました。

ガルーダ航空サイクリングの参加者

4月23日からの3日間は、アメリカ合衆国オバマ大統領訪日と日程が重なったこともあり、永田町や皇居周辺はいつもより警戒が厳しい状況でしたが、人事異動に対する関係省庁への挨拶回りや要望活動、また、上島町で活用できる施策に関連する情報収集に努めてまいりました。上島町にとって重要で参考になる事案も多くありましたので、その訪問場所や内容については職員全員にレポートし、共通情報としております。

4月27日には、「瀬戸内しまのわ2014　レッツ三海道贅沢サイクリング」が開催され、私も全行程120キロメートルを走り切りました。本イベントは「しまなみ海道、ゆめしま海道、とびしま海道」の三海道をチャーター船で巡るサイクリングツアーで、地元在住プロライダーの門田さんのコース設定により、総勢80名が参加しました。上島町では、弓削島、佐島、生名島と岩城島を走行し、昼食は岩城のレモンポーク丼を食べるコースとなり、ツアー参加者は、行き交う船や海岸沿いに広がる景観と島のグルメを満喫されていました。また、「ゆめしま海道」は信号やトンネルが無くノンストップで走行できる快適なコースとして称賛をいただき、改めて上島町の観光ポテンシャルの高さを感じるとともに、新たな各種施策提案の必要性を再確認いたしました。

三海道贅沢サイクリング

5月15日、明治神宮会館において、「平成26年全国赤十字大会」が開催され、日本赤十字社の名誉総裁である皇后陛下や名誉副総裁である秋篠宮妃、高松宮妃様のご臨席を仰ぎ、厳かな中にも温かみが感じられる会となりました。何より感動したのは、皇后陛下の心細やかな動作や気配りで、日本人はこうあるべきであるし、昔の日本では、誰もがこうした所作ができていたのではないかと考えさせられました。今回の大会を通じて、私は日本赤十字の医師や看護師のように、直接、被災地の現場で治療活動等を行うことはできません

が、ボランティア活動や寄付等を通じて、間接的にでも赤十字に協力しなければならないことを感じました。

5月28日に奄美大島で開催された、全国離島振興協議会平成26年度通常総会には、国会議員をはじめ伊藤鹿児島県知事代理や県議会池畑議長代理、県議会議員及び奄美群島各議長・国土交通省苧谷審議官や離島振興課長補佐等の御出席の下、「平成26年度重点推進項目について」「平成26年度事業計画について」等が議案として上程され承認されました。

これは、新しい離島振興法の施行に伴う各種政策の実施など離島を取り巻く情勢が大きく変貌する中で、多くの離島は、過疎化・高齢化が依然として進行し、第一次産業の不振、観光の低迷に加えて、生産・生活両面の高コスト負担などにより定住環境の悪化は続いており、その抜本対策のための政策展開が急務になっていることへの対応。関係公共事業ならびに離島活性化交付金をはじめとするソフト事業予算の必要額を確保し、地域の実情に応じた各種事業実施により離島定住を確かなものとするため年とするためです。

この総会の詳細については、文書で全ての職員に報告し、「私達上島町職員は、離島の国家的、国民的役割を果たすためにも、新しい法律に基づいた離島振興を着実に実現すること」や、「特に離島活性化交付金については、上島町民の為、自ら提案することで十分に活用しなければならない義務が行政職員にはあること」を指示しました。

今後も岩城橋の事業化が実現するまで、様々な努力が積み重ねられそれが報われた現実があるように、職員の提案力に期待を寄せています。

5月22日、愛媛県は「平成27年度重要施策提案・要望」を発表し、5月27日に各省庁へ要望活動を行いました。

その目的は、平成27年度政府予算の概算要求に向け、政府に地域の実情を伝え、対応を求めるためであり、その内容は最重要項目として「公共施設等の耐震化等の促進」「自転車新文化〝愛媛マルゴト自転車道〟の推進」「国民体育大会の開催に向けた支援」など27項目、重点項目として「合併後の市町の実態を反映した財政支援措置の充実・強化」など20項目にわたっています。

上島町としてもすでに来年度に向けて、各部単位で各担当課から重要案件を提案するように指示しており、6月中に上島町最重点要望事項を作成し、7月中には関係省庁に出向いて要望活動を実施することにしています。

県の最重要項目に位置づけられております、「自転車新文化〝愛媛マルゴト自転車道〟の推進」につきましては、平成25年度から5年間で、県と全市町が連携し、全26コースの整備を行う計画であり、着実なコース整備と交通安全の確保や地域活性化に資する利用促進策の検討などに取り組んでいく必要があります。このため、本年2月18日に開催された知事と20市町長で構成します「愛媛県・市町連携推進本部会議」において、県・市町連携の一環として、県地方局・支局の5ブロック毎に「安全・利用促進協議会」を設立することが決定されたところであり、これを受けて、今治市と上島町を所管とする東予地方局今治支局管内においても「今治・上島マルゴトサイクリング安全・利用促進協議会」の設立が決定するなど、着々と自転車新文化の推進が図られております。

ピクトライン（写真は今治市上浦）

上島町は、サイクリングイベントを積極的に招致するなど、自転車環境の熟度が高いとの県の判断により、早くから町内県道のブルーライン設置が決まっています。町においても今年度より町道・農道の路面案内をブルーライン表示するピクトラインの設置や自転車ヘルメット購入費の補助事業を他の自治体に先駆けて予算化しています。

また、今定例会では「自転車の安全な利用の促進に関する条例」を上程し、上島町全域での自転車文化の振興を図りたいと考えております。

5月26日には、10月26日に「瀬戸内しまのわ２０１４」のメインイベントとして開催されます「瀬

戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会　サイクリングしまなみ」の出場申込み予約が開始されましたが、その予想以上の反響に驚きました。

メイン5コースの内、上島町は2コースも設定していただいていますが、定員300名の今治から生名島、佐島を経由し弓削島をゴールとするCコースが38分、定員200名の今治から岩城島をゴールとするDコースが49分で締切りとなり、エントリーできなかった人々が多く出てしまうという結果となりました。改めて、出場者だけでも8000名の参加があるサイクリング大会の、世界中の方々からの注目度の高さに驚愕するとともに、我が上島町の持つ潜在的な魅力を含め、「健康」「いきがい」「友情」をもたらす「自転車新文化」の大きな流れを感じました。

サイクリングパラダイスを目指す愛媛県の中で、サイクリングアイランドの上島町として、国内のみならず海外からお客様を町民の皆様と共にお迎えし、共に楽しみたいと思っておりますので、今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、上島町の財政状況については、平成25年度当初予算及び補正予算で取り崩しを予定していた総額12億6千万の基金（定期預金）も、年度末には寄付金分の306万円を除き全額取り崩しを中止することができました。これは、施設を建設する際においても適切な提案をすることで国や県の有効な財源を活用し、上島町の単独財源を極力使わないように工夫を重ねている為です。現在でも愛媛県下で4番目の健全な財政状況を保持しておりますが、今後も中長期的で計画的な運用を行い、子供達にツケを回さないような財政運営を進めてまいります。

結びに、6月11日付で上島町の国体施設整備に賛同する請願書が、3900名を超える署名とともに上島町議会に提出されたと報道されました。町民を代表する議員の皆様におかれましては、その町民の切実な行動と大多数の町民の声を客観的かつ冷静に、また重く受け止めていただきますようお願い申し上げます。

平成29年に開催される愛媛国体のキャッチフレーズは「君は風いしづちを駆け　瀬戸に舞え」です。瀬戸とは正に上島町を表しています。議会との更なる協議により、国民体育大会の開催に向け、上島町の子供達や若者たちの夢を壊さないためにも、成年男子軟式野球会場に内定しております本町の蛙石野球場改修を実施し、全国から訪れる方々を笑顔でお迎えできますことを期待いたします。

本日は、条例案3件、補正予算案1件、を含め7件の議案を上程しております。

個々の議案につきましてはそれぞれの時点でご説明させていただきますので、よろしくご審議の上、適正な決定を賜りますようお願い申し上げます。

各議案の主な内容及び議決結果

条例議案

■上島町道路占用料徴収条例

道路法等の一部を改正する法律の施行に伴い、道路管理者が道路の占用料を徴収する条例制定の必要が生じたもの。

―原案可決―

■上島町自転車の安全な利用の促進に関する条例

町民の自転車の安全な利用に関する意識を向上させ、自転車を安全かつ快適に利用できる環境を整備するとともに自転車が関与する事故を防止し、自転車の安全な利用の促進を図るもの。

―原案可決―

■上島町行政財産の使用料徴収条例の一部を改正する条例

上島町道路占用料徴収条例の新規制定に伴い、関係規定を整備する必要が生じたもの。

―原案可決―

補正予算議案

■平成26年度上島町一般会計補正予算

【補正額】1億5923．8万円

【総　額】73億4250万円

―修正案可決―

―修正部分を除く原案可決―

（※プレミアム商品券補助金850万円が削除されたもの）

その他議案

■辺地に係る総合整備計画の策定について

諸般の状況から、本町の辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を検討し、これを策定する必要があるため。

―原案可決―

■工事請負契約の締結について

●新型救急艇建造工事

【契約方法】指名競争入札

【契約金額】1億6740万円

【契約の相手方】

広島県尾道市浦崎町1471番地8

ツネイシクラフト&ファシリティーズ株式会社

代表取締役　神原　潤

―可　決―

●岩城保育所新築工事

【契約方法】指名競争入札

【契約金額】4億4604万円

【契約の相手方】

今治市南大門町1丁目1番地の15

四国通建株式会社

代表取締役　阿部　健

―可　決―

9月1日から上島町自転車の安全な利用の促進に関する条例を施行します

近年、自転車は、生活の移動手段として利用されるほか、趣味や健康維持からスポーツまで幅広く利用されるようになってきました。その一方で、自転車が関与する交通事故の増加や自転車利用者の運転マナーの悪さが問題になるなど、自転車の安全な利用対策が喫緊の課題となっています。こうしたことから、上島町においても自転車の安全な利用に関する意識や運転マナーの向上、自転車の安全な利用の促進を図るため、条例を制定しました。

1．交通に関する法令を遵守しましょう（自転車は、車両の仲間です）
2．道路の左側を通行しましょう
3．歩道を通行するときは、歩行者の通行を妨げないようにしましょう
4．自転車乗車時にはヘルメットを着用しましょう
5．携帯電話、イヤホン又はヘッドフォンを使用しながら運転をしないようにしましょう
6．夜間等においては、前照灯等を点灯させましょう
7．傘をさしながら運転をしないようにしましょう
8．自転車損害賠償保険に加入しましょう

《問合せ先》上島町総務部総務課庶務係　☎0897-77-2500

自転車用ヘルメットの購入費を補助します

上島町では、自転車を利用する町民のヘルメット着用の促進を図り、交通安全対策を推進するため、自転車用ヘルメット購入に要する費用の一部を補助いたします。

【対象者】　自転車用ヘルメットを町内の販売業者から購入した町民の方

【補助金の額】

購入価格の２分の１以内の額
（限度額は2,000円）

【申請に必要なもの】

①申請書
②領収書の原本

【申請・問い合わせ先】

各総合支所総務課

歩道に駐車しないで！

長時間にわたり歩道等に駐車し続けている車を見かけることがあります。

歩道は歩行者が安全に通行するための道路です。歩行者の通行の妨げになりますので、交通ルールを守り、歩道に駐車しないようにしましょう。